

## 2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名 : 園下 将大

### 1. 研究者になろうとしたきっかけ

幼い時に、病気になっても自然と治してしまう人体の精妙さに興味を抱きました。しかしそのうちに、がんなど人体でも簡単には治せない病気があることを知り、患者さんの救済につながる研究をしたいと考えるようになりました。

### 2. 助成研究の内容紹介

膵臓がんは、治療が極めて困難な難治がんとして知られています。本研究では、新しい動物モデルであるハエを哺乳類実験系と相補的に使用することで、膵臓がんの詳細な発生過程の迅速な解明を目指します。

### 3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

本研究では、どのような遺伝子異常がどのように膵臓がんの発生を促進するか、詳細な機序の解明を目指します。これにより、将来の新しい治療薬開発への貢献を図ります。

### 4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

このたびは研究助成に採択いただき、深く感謝申し上げます。一刻も早く福祉向上に貢献できるよう、皆様の篤志を研究遂行のために有効に使用させていただきたく存じます。